

平成25年 5月22日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第4回「遮蔽ハンドブック」研究専門委員会
開催日時	平成25年3月12日（火） 13:30～17:00
開催場所	独立行政法人理化学研究所 東京連絡事務所
参加人数	28名：上叢主査、浅見幹事、今野幹事、坂本幹事、根本幹事、安納委員、糸賀委員、太田委員、奥野委員、奥村委員、黒澤委員、郡司委員、後神委員、鶴巻氏（坂本委員代理）、佐藤理委員、杉田委員、助川委員、高田委員、谷内委員、中島委員、中根委員、中野委員、中村委員、波戸委員、播磨委員、伴委員、平山委員、森田講師
議 事	<p>1. 講演「新発見の113番元素」</p> <p>原子番号が94を超える元素はすべて人工合成によって発見された。また地球上の物質から発見された94種類の元素のうち、天然の物質から発見される以前に人工合成によって発見された元素が5種類ある。現在は118種類の元素の存在が報告されているが、名前の付いている元素はそのうち114種類。1～112番までの元素と114、116番元素である。これらの状況を踏まえ、近年行われている新元素の合成と確認の方法、元素の名前の決められ方、理研での実験の苦労などが紹介された。</p> <p>2. 遮蔽ハンドブック作成について</p> <p>上叢主査より、改訂した目次案、執筆責任者及び担当者の提案があり、審議した。いくつかコメントがあり、これらのコメントを入れて、担当者を改訂し、今回の議事録とともに各委員にメールで送付し、各委員の了解をいただくことになった。</p> <p>3. 書式について</p> <p>上叢主査より、原稿のテンプレートの提案がされ、審議した。いくつかコメントがあり、これらのコメントを入れて、原稿のテンプレート（決定版）を後日各委員に送付することにした。</p> <p>3. その他連絡事項</p> <p>次回会合は今年6月10日以降を予定。講演としては、筑波大学の熊田氏に「BNCT」について講演をしていただくことにした。</p>
備 考	

平成25年 5月22日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第3回「遮蔽ハンドブック」研究専門委員会
開催日時	平成24年12月14日（金） 13:30～16:40
開催場所	独立行政法人理化学研究所 東京連絡事務所
参加人数	24名：上叢主査、今野幹事、坂本幹事、根本幹事、安納委員、糸賀委員、植木委員、大石委員、奥野委員、奥村委員、郡司委員、後神委員、鶴巻氏（坂本委員代理）、助川委員、高田委員、田中委員、中島委員、中田委員、中根委員、中野委員、播磨委員、平尾委員、佐々講師、仁井田氏（オブザーバー）
議 事	<p>1. 講演「ADS 研究開発の現状」</p> <p>原子力機構の佐々氏より「ADS 研究開発の現状」という題目で講演があった。分離変換技術に関する日本の現状、加速器駆動システム研究開発の状況、加速器駆動システム研究の国際動向について詳細に報告が行われた。</p> <p>2. 遮蔽ハンドブック作成について</p> <p>上叢主査より、改訂した目次案、執筆責任者及び担当者の提案があり、審議した。いくつかコメントがあり、これらのコメントを入れて、目次案、執筆責任者及び担当者を改訂し、今回の議事録とともに各委員にメールで送付し、各委員の了解をいただくことになった。</p> <p>その後、参加者のみで担当分の今後の進め方を議論した。原稿のテンプレートを決めて欲しいという要望がでてきたため、原稿のテンプレート案を後日各委員に送付することにした。</p> <p>3. その他連絡事項</p> <p>次回会合は来年3月上旬を予定。講演としては、理研の「113番元素の発見」を候補とする。</p>
備 考	

平成25年 5月22日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第2回「遮蔽ハンドブック」研究専門委員会
開催日時	平成24年10月 5日(金) 13:30~17:00
開催場所	独立行政法人理化学研究所 東京連絡事務所
参加人数	30名: 上叢主査、浅見幹事、今野幹事、坂本幹事、根本幹事、時吉氏(安納委員代理)、糸賀委員、植木委員、大石委員、奥野委員、奥村委員、黒澤委員、郡司委員、後神委員、伊藤氏(坂本委員代理)、佐藤理委員、杉田委員、助川委員、谷内委員、中島委員、中田委員、中根委員、中野委員、中村委員、波戸委員、播磨委員、平尾委員、平山委員、森島委員、浅野講師
議 事	<ol style="list-style-type: none"><li>講演「X線自由電子レーザー施設 SACLA の現状と安全設計」 理研の浅野氏よりX線自由電子レーザー施設 SACLA に関する講演があり、施設の概要、施設の放射線遮へい設計等に関し、詳細な説明があった。</li><li>遮蔽ハンドブック作成について 上叢主査より、目次案、執筆責任者及び担当者の割振りの提案があり、議論を行った。各委員から種々のコメントがあり、これらのコメントを考慮して、目次案、執筆責任者及び担当者の割振りを改訂することになった。</li><li>その他連絡事項 次回会合は12月上旬を予定。また、講演の候補としては、JAEA のオメガ計画(高レベル放射性廃棄物の核種分離変換技術)とする。</li></ol>
備 考	

平成25年 5月22日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「遮蔽ハンドブック」研究専門委員会
開催日時	平成24年 6月 8日(金) 13:30~16:15
開催場所	独立行政法人理化学研究所 東京連絡事務所
参加人数	32名: 上叢主査、浅見幹事、今野幹事、坂本幹事、根本幹事、安納委員、糸賀委員、黒澤委員、大石委員、太田委員、奥野委員、奥村委員、郡司委員、後神委員、伊藤氏(坂本委員代理)、佐藤聡委員、助川委員、高田委員、田中委員、谷内委員、辻委員、中島委員、中田委員、中根委員、中野委員、中村委員、根本委員、播磨委員、平尾委員、平山委員、森島委員、時吉氏(オブザーバー)
議 事	<p>1. 現ハンドブック執筆の経験について 辻委員により、ハンドブック作成の目的とその背景、作成方法と作成時に苦労した点、及び今後の活動の方向性に関する解説が行われた。</p> <p>2. ハンドブック作成について 浅見幹事により、現在の中性子及びガンマ線遮蔽設計ハンドブックの目次の紹介があり、新版ハンドブックの構成、目次、作成スケジュールをどのようにするか議論を行った。</p> <p>3. その他連絡事項 次回会合の日程は9/24の週か、10月最初の週を予定。講演の候補として、原子力機構の斎藤さんに福島関連、理研の浅野さんにSACLA、理研の方にスパコンの京、があがり、詳細について別途調整となった。</p>
備 考	